

6

お客様・沿線の皆様へのご協力をお願い

2008年安全報告書 阪急電鉄株式会社

6-1

不審物発見時のお願い

警察等の関係機関と連携して、自主警備体制の徹底を図り、駅構内、列車内等の巡視を強化していますが、駅構内や車内で不審物を発見した場合は、触れたり、臭いを嗅いだり、動かしたりせずに、お近くの乗務員や駅係員にご連絡いただきますようお願いいたします。

2008年は、北海道洞爺湖サミットや神戸、大阪、京都で開催された大臣会合に合わせてポスターを掲出しました。



6-2

各種キャンペーン

1 踏切事故防止キャンペーン

踏切事故は、自動車等の直前横断、無謀通行、運転操作の誤り等、道路通行者側に起因するものが多いため、「踏切事故防止キャンペーン」等を実施して、踏切道を通行するドライバーや歩行者に対して安全確認の協力を呼びかける等、踏切事故の防止に取り組んでいます。また、沿線の小学校を訪問して、踏切道の仕組みや正しい渡り方、ホームで電車を待っているときの注意点、車内でのマナー等に関する啓発活動を実施しています。



2 マナーアップキャンペーン

日頃から駆け込み乗車や携帯電話のご使用等、マナーに関するご協力をお願いしています。春と秋には、京都線の正雀工場で開催する「阪急レールウェイフェスティバル」に、阪急電鉄オリジナルのキャラクターであるマナーアップ戦隊マナブンジャーが登場し、ご来場の皆様にご乗車の際のマナー向上をお願いさせていただきました。

駆け込み乗車は、非常に危険であり列車の遅延にもつながります。また携帯電話での通話は、周りの皆様のご迷惑になるだけでなく、携帯電話電源オフ車両内でのご使用は、心臓ペースメーカーを装着されたお客様に大きな不安感を及ぼします。各種マナー向上への取り組みにご協力をお願いいたします。

